

令和3年3月9日

報道機関 各位

【記者会見】

総合周産期母子医療センターに向けた NICU/GCU  
リノベーション完成！

◆本件のポイント！

島根大学医学部附属病院・周産期母子医療センターが、2021年4月1日から島根県内の妊婦さんから赤ちゃんまでの継続した高度な医療を提供する総合周産期母子医療センターに移行するにあたり、県民のみなさまを中心とした支援などにより、赤ちゃんやご家族が安心していただける「温かい」空間と最良の医療を提供する「高度」な医療機器を整備したNICU/GCUにリノベーションしました！

◆本件の概要

島根県内の周産期医療の維持・発展を目的として、島根大学医学部附属病院が2021年4月1日から妊婦さんから赤ちゃんまでの継続した高度な医療を提供するために、現在の地域周産期母子医療センターから総合周産期母子医療センターに移行することとなりました。特に、治療が必要な赤ちゃんが入院する2つの病室、新生児集中治療室（NICU）と新生児回復治療室（GCU）を改築する必要がありました。また、医療機器の整備やスタッフの育成なども必要となりますが、赤ちゃんと家族の支援体制も必要となります。特に、その一環としてクラウドファンディングで島根県内を中心とした日本全国のみなさまからの暖かいご支援（約1,250万円）により、廊下ガラス窓越しにお見舞いに来られたお父さんやお母さん、赤ちゃんのきょうだいの気持ちが和やかになる雰囲気づくりとして、島根大学総合理工学部建築デザイン学科のご協力により、動物が窓を囲むように配置し、窓から見える赤ちゃんを動物たちが見守っている壁面デザインを作成しました。

このリニューアルに際して、多くの県民のみなさまのご寄付により完成した高度でかつ暖かい医療を提供できるNICU/GCUを、是非とも、島根県内の皆さまに感謝の意をお伝えいたしたく、記者会見をさせていただければと思います。当日は実際のNICU/GCUもご覧いただけますので、多くの報道の皆さまにお越しいただき、県民のみなさまへご周知いただければ幸いに存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

◆概要内容

日時：2021年3月12日（金）13：00～14：00

場所：島根大学医学部本部棟5階大会議室（島根県出雲市塩冶町89-1）

（記者会見終了後、病院に移動し、NICU/GCUをご内覧いただきます）

出席者：島根大学医学部附属病院長 井川 幹夫

島根大学医学部附属病院 小児科 教授 竹谷 健

島根大学 総合理工学部 建築デザイン学コース 教授 細田 智久

島根大学 総合理工学部 建築デザイン学科 3年 曾根 彩花 さん

（細田・三島建築計画研究室所属）

※感染症対策のため、マスク着用・手指消毒にご協力をお願いいたします。

◆本件の連絡先 ※〈at〉は@に置き換えてください

(記者会見に関すること)

島根大学医学部小児科 竹谷 健

総務課企画調査係

E-mail ttaketani 〈at〉 med.shimane-u.ac.jp

E-mail mga-kikaku 〈at〉 office.shimane-

Tel 0853-20-2220, Fax 0853-20-2215

u.ac.jp

◆本件に関する写真

(リニューアルイメージ)



【添付資料： □あり (      枚)

■なし】